

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

FEB. 2020

広報 **そえだ**

Soeda
Public
Relations



2

No.700



祝♥成人 20歳になりました

令 和となって初となる添田町成人式が1月12日に行われ、旧友や恩師との再会に、会場のオークホールには笑顔と歓声があふれました。式典では、少し緊張した新成人に寺西町長が「皆さんには、素晴らしい未来という同じ目標に向かい、今日のこの日を迎えたワンチームとして、それぞれ進む道は違えども、目標に向かって、一歩一歩進んでいってほしい」と期待を込めて激励。また、祝福にかけつけた中学時代の恩師や来賓などからも温かいメッセージが送られると、新成人たちは、一言一言を静かに聞き入っていました。式典の後半では、中学時代の懐かしい写真がスクリーンに映し出されると、当時を思い出して、会場は笑顔に包まれていました。最後に、新成人を代表して長谷川元輝さん（添田東）が「添田町で成長できたことを誇りに強い意志を持ち、感謝の気持ちを忘れずにこれからも生きていきたい」と力強く謝辞を述べ、長瀬剛の「乾杯」のサビ部分をアカペラで熱唱しました。式典終了後は、恩師や友人と近況報告や思い出話で盛り上がり、スマートフォンで写真を撮り合ったりして旧交を温め合う新成人たち。人生の大きな節目に立った喜びと、周囲への感謝の気持ちをかみしめ、故郷の友とのかけがえのない時間を過ごしていました。



◎令和元年度成人式フォトレポート

2020年、令和初の20歳はたちの集い

1月12日、新成人106人を対象に令和元年度成人式がオークホールで行われました。式典には、晴れ着に身を包んだ73人が出席し、故郷で懐かしい友人や恩師と再会を喜び合いました。



●昭和、平成、そして令和へ 広報そえだ58年の軌跡

皆さんのおかげで700号 住民が主役の広報紙へ

広報そえだは今月で700号。昭和、平成、令和と時代の流れの中で変化を繰り返しながら、皆さんのおかげで発行を続けることができました。そして、これからも皆さんに親しまれ、愛されるような広報そえだを目指します。

記念すべき創刊号 町の歴史刻むページ

昭和36年、本町が町制施行50周年を迎えた年、記念すべき第1号となる「添田町報」が創刊されました。一面には、当時、町長だった故中富鐵之助氏や議会議長の故畠田金太郎氏の祝辞などを掲載。中富氏のあいさつには「町民に親しまれ、愛される新聞になるよう願う」と書かれています。

その後は、時代の移り変わりとともに、少しずつ掲載内容を変え、カラー面やページ数が増え、今、皆さんが手にしている一冊になっています。

町民の皆さんが主役の 親しまれる広報紙へ

インターネットで瞬時に知りたい情報が手に入る時代ですが、自分たちの暮らしや地域の今を伝えるのもっとも身近な情報紙として、住民の皆さんと行政のパイプ役となるのが広報そえだです。そして、ただ情報を伝えるだけでなく、地域への誇りや愛情が育まれるよう、まちの今をしっかりと伝え、未来へとつなげていくことが広報そえだの役割です。今月で700号を迎えた広報そえだ。創刊から58年の歳月を重ねてこられたのは、もちろん町民の皆さんのおかげです。これからも「町民に親しまれ、愛される広報」「読者ファースト」の思いで、広報そえだを皆さんのお手元へお届けします。広報そえだの「主役」は、住民の皆さんです。「主役」の皆さん、これからも広報そえだをよろしく願います。

58年の歳月を重ねた広報そえだの 移り変わりを紹介します

創刊号は添田町町制施行50周年を迎えた昭和36年8月にB4サイズ4ページで「添田町報」として発行されました。

▼昭和40年4月発行第42号

発行から42号目、添田町報から現在と同じ名前である「広報そえだ」へ変わりました。



◀昭和44年5月発行第91号

B4サイズから、家庭でも手軽に保存できるようにと、B5サイズに縮小されました。



▶昭和62年1月発行第303号
新年号などの表紙には、カラーが使われるようになりました。また、ページ数も6ページに増えてきました。



▶平成12年4月発行第462号
表紙と最終ページがカラーとなりました。また、ページ数と情報量が増え、地域に目を向けた特集が組まれるようになりました。

◀平成23年4月発行第594号
明治44年の町制施行から100周年。この月の表紙は、100歳になるおじいちゃんが飾りました。



昭和

平成

令和

▼昭和39年10月発行第36号

この年開催された東京オリンピックの聖火リレーの様子を掲載。添田町のリレー隊員が秋晴れの田川郡を力走しました。



▼昭和42年3月発行 号外

新しく町長が就任し、臨時議会が開催されたことを号外でお知らせ。新町長による行政方針の表明と質疑応答の内容です。



▶昭和47年7月発行第129号

走り幅跳びでミュンヘンオリンピック出場を決めた町出身の山下博子さんが登場しました。



◀平成元年3月発行第329号

元号が昭和から平成に変わったこの年、平成初の広報が3月に発行されました。



◀▲平成15年3月発行第500号
「広報とは何ぞや」というタイトルで広報の歩みを紹介する特集の第500号。



◀令和2年2月発行第700号



高校生が 作って見た 「広報そえだ」

広報そえだの作成を職場体験実習にやってきた田川高校生2人が体験しました。

体験したのはこの2人!!



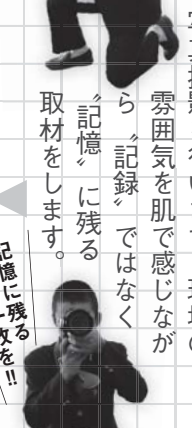
①企画・情報収集
多くのかたから寄せられた情報や町の動きなどを精査し、今一番何を伝えるべきか、どうすれば限られたページ数で掲載できるかなどを考えます。

②取材の準備
必要な情報は事前に下調べをしてカメラと筆記道具を持ち、現場へ向かいます。

野球部で鍛えた体力には自信あり!!



③取材・撮影
インタビューや写真撮影を行います。現場の雰囲気を感じながら「記録」ではなく「記憶」に残る取材をします。



④編集
取材を基に原稿を作成し、撮影した写真から使用するものを選びます。また、専用のソフトを使い、見やすく、読者の興味を引くようなレイアウトを作ります。



⑤校正
出来上がった紙面の誤字・脱字などを何度も確認します。

⑥入稿・印刷
印刷会社にデータを渡し、4300部印刷されます。

⑦配布
行政区長と隣組長の協力で各家庭に配布され、皆さんのお手元に届きます。



確定申告書の様式が変わりました

▶平成を令和に読み替えます

平成から「令和」への改元に伴い、確定申告書などの様式が変わります。国税庁では、順次「令和」表記に更新を行っていますが、すでに配布済みのものについては平成を「令和」に読み替え、有効となります。

また、確定申告書の「所得から差し引かれる金額」の記入欄の順番が変わりました。所得控除の内容に変更はありませんが、記入の際は注意してください。



■各種税の申告と納付の期限を忘れずに

- ▶所得税・贈与税＝3月16日㊦まで
- ▶個人事業者の消費税と地方消費税＝3月31日㊦まで

■振替納税を利用している人の振替日

- ▶所得税＝4月21日㊦
 - ▶個人事業者の消費税・地方消費税＝4月23日㊦
- ※新たに振替納税を利用する場合は「預貯金口座振替依頼書」の提出が必要です。

■簡単便利な振替納税

「確定申告後、納付書もらっていたけど、うっかり払い忘れていた」「銀行が遠くて行くのが大変」。納付期限を過ぎてしまうと利子税（延滞金）が発生することもあります。口座振替にしておけば、引き落とし日の前に、お金を通帳に入れておくだけ。簡単・確



実で払い忘れることはありません。口座振替を利用すると納期限にゆとりができます。

■廃車手続きはお済みですか

原動機付き自転車や軽自動車などに対する軽自動車税は、毎年4月1日現在で車両を所有（登録）している場合に年税額が課税されます。そのため、4月2日以降に廃車や名義変更をしても、月割り課税の制度はなく、その年度分の税金を一括で納めていただくことになります。125cc以下のバイクやトラクターなどを登録したままで、現在所有していない人は、ナンバープレートと印鑑を持って、3月31日㊦までに廃車の手続きをしてください。



納め忘れはありませんか？

町税完納にご協力をお願いします

平成31年度の町県民税（普通徴収）や固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税（7期）の納期限が終わりました。納め忘れの税がないか確認し、町税完納にご協力ください。納付書を紛失した場合は、役場住民課税務・滞納対策係（☎82-1234）まで相談してください。

税や申告で不明な点は、いつでもお気軽にご相談ください。



【 所得税に関する問い合わせ／田川税務署個人課税部門 ☎ 44-0430 】

／ 忘れずに早めの申告をお願いします ／

確定申告

今年も税の申告が始まります。障害年金や遺族年金を受給している人、収入がなく扶養になっている人も申告が必要な場合がありますので、期間中に役場で申告を行ってください。



令和元年分

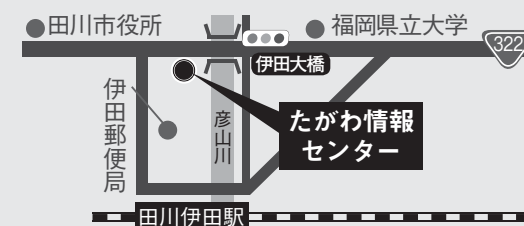


申告受付期間 >>> 2月17日㊦～3月16日㊦
9時～16時（土・日は除く）

■ 3月1日㊦ 9時～16時は申告を受け付けます（添田町役場のみ）

申告会場 >>> 役 場 役場1階特1会議室
税務署 たがわ情報センター（田川市）

期間中は混み合うため所得税の確定申告は、郵送やe-Taxを利用するなど、できる限り税務署へ提出してください。※青色申告などの人は、たがわ情報センターで申告をしてください。



■町県民税の申告をしなければならない人

- ▶令和2年1月1日現在、添田町に居住している人
- ▶令和元年中に営業、農業、不動産などの所得がある人
- ▶定住促進支援金（一時所得）や個人年金（雑所得）がある人
- ▶18歳以上の国民健康保険加入者※パートやアルバイトなどの収入がある人も、申告が必要な場合があります。

■申告のときに必要なもの

- ▶印鑑（書類で確定申告する場合）
- ▶給与や公的年金の源泉徴収票など収入のわかるもの
- ▶営業や農業所得などの収支明細書
- ▶生命保険料や地震保険料の控除証明書
- ▶医療費控除を受ける人は医療費明細書や領収書（補てんされた金額のわかるもの）※事前の集計をお願いします。

- ▶障害者控除を受ける人は障害者手帳などの証明
- ▶寄付金控除を受ける人は、領収書や受領書
- ▶マイナンバーカードや通知カード
- ▶申告する本人名義の通帳など口座番号のわかるもの※J A 田川の出張所を還付先に登録した人は、再登録が必要です。



■公的年金受給者や国保加入者は特にご注意ください

- ▷公的年金収入額が400万円以下で、それ以外の所得が20万円以下の場合は、所得税の確定申告はする必要はありませんが、町県民税の確定申告は必要です。
- ▷国民健康保険に加入している世帯は、所得がない場合でも必ず申告しなければなりません。申告をしない場合は、所得証明書の交付や国民健康保険税の軽減措置が受けられませんので注意してください。



【 町県民税に関する問い合わせ／役場住民課税務・滞納対策係 ☎ 82-1234 】

頼れる身近な地域の相談員

民生・児童委員の再任・交代

3年に一度の民生委員・児童委員の全国一斉改選が行われ、令和元年12月1日から34人（民生児童委員32人、主任児童委員2人）が、厚生労働大臣の委嘱を受けました。

民生委員は、児童委員を兼任し、高齢者や障がい者の福祉に関すること、子育てや介護などの不安に関する様々な相談支援を行います。また、一部の児童委員は特定の区域を担当せず、児童に関することを専門的に担当する主任児童委員の指名を受けています。任期は、令和4年11月30日までの3年間です。心配ごとや困りごとなどあれば、お気軽に相談ください。相談無料で秘密は厳守されます。（敬称略）

委員名	担当行政区	電話番号
高千穂元子	英彦山	85-0687
藤井 公義	上落合二	85-0219
入口富士男	上落合一	85-0407
梅野由美子	下落合	85-0564
伊藤 千秋	柵田・一ノ宮	82-1096
田中 嘉	野田	090-1871-3480
岩田 恵里	添田東	090-4995-7793
空閑 一教	添田中	82-0498
田中須美恵	添田西	82-4875
熊谷 好和	町一	82-0424
廣澤 健太	町二	82-0845
田中美津子	町三	090-5029-4158
鈴見 聡	町四	82-5252
藏本 哲也	伊原	82-1742
安方 泰広	豊川	82-5330
手島 弘紀	庄上	82-0232

委員名	担当行政区	電話番号
溝口 洋子	桜橋	82-1428
大田原 靖	庄東・峰地北	82-0221
平野 澄枝	庄中	82-4889
平田 智子	庄西	82-2882
鬼丸 秀雄	峰地団地	090-9574-5324
福澤 憲昭	新城	82-1613
筒丸 昌夫	岩瀬	090-4580-5370
木下 芳博	真木	73-3073
中嶋 豊弘	真木団地	82-4811
方志 博親	峰地	82-3986
鎌田芙美代	上中元寺	82-1603
原 珠美	下中元寺	82-5062
西山 司	下中元寺不動	82-3638
宮内 櫻雄	上津野	84-2208
金子富士子	中津野	84-2413
馬場久美子	下津野	84-2441
角崎 久美	主任児童委員	85-0615
足立美智子	主任児童委員	82-0733

今回の改選で、次の10人が退任されました。長い間、お疲れさまでした。（敬称略）

委員名	担当行政区	役員期間
加藤タツ子	上落合二	3年
伊藤 幸夫	旧三崎	6年
水上 普	野田	21年
釜本 謹彰	添田東	6年
高橋ひろ子	添田中	6年
伊川 加代	町二	9年
小田部征人	桜橋	6年
西野壽賀子	庄中	6年
古賀 進	峰地団地	6年
諫山 哲朗	中津野	6年

色彩豊かな絵巻で描写 英彦山修験道の祭事

旧暦の2月、英彦山修験道では「松会」と呼ばれる祭事が執り行われていました。今回の歴まちコラムでは古い絵巻からわかる、松会の様子を紹介します。

旧暦2月14日から15日にかけて執り行われていた「松会」。その様子は、大らかな線と比較的淡い色彩で描かれた「祭礼之図」と「行列之図」の2巻からなる『英彦山大権現松会之図』という絵巻で分かります。

「祭礼之図」では、祭事前日の13日に靈仙寺大講堂（現在の英彦山神宮奉幣殿）の前で柱松を起こす「松興」の場面から始まり、14日には大講堂すぐ上の下宮から、3基の神輿が銅鳥居付近の下宮（現在の英彦山神宮御旅所）まで神幸。15日に神輿が還御して、大講堂前での御田植祭の様子が描かれています。また、神輿の神幸と御田植祭の間には

長

崎県平戸市の松浦史料博物館には、英彦山の絵巻を模写したと考えられる『英彦山大権現松会之図』が所蔵されており、巻末には「諸国参詣多千年ハ凡七八萬人」と書き込まれ、2日間で7～8万人の参詣者がいたことを伝えています。

現在、英彦山神宮では「松会」

流鏑馬や獅子舞、鉞舞などの姿も描かれています。「行列之図」には行列に付き従う神官や経典を読む僧侶、神輿を担ぐ山伏の姿などが見られ、「松会」は神道・仏教・修験道などの区別なく、英彦山全体で執り行われる祭事だったことが理解できます。

今

回紹介した『英彦山大権現松会之図』のうち「祭礼之図」は、英彦山修験道館に実物展示しています。ぜひとも色彩豊かな絵巻を見ていただき、往時の祭礼の姿に想いをはせてみてください。【文・西山絃（学芸員「まちづくり課歴史文化財係」）



↑『英彦山大権現松会之図』の御田植祭④と流鏑馬⑤

【参考文献】『英彦山修験道絵巻』村上龍生（1995年）
『豊峰英彦山－神仏と人と自然－』九州歴史資料館（2017年）



歴史まちづくりに取り組む市町の魅力をカードで紹介

歴まちを巡って集めよう 九州11市町でカード配布中

図 役場まちづくり課歴史文化財係（☎82-5964）

九州で、歴史まちづくりに積極的に取り組む11の市と町が連携し、その魅力をPRするため「歴史まちづくりカード（歴まちカード）」を配布しています。このカードは、歴史的風致維持向上計画の認定を受けた九州の11の市と町の象徴的な風景写真や歴史まちづくり情報を紹介したカード型のパンフレットです。それぞれの自治体でその市や町のカードが無償でもらえます。

◎発行している市町（福岡県）宗像市、太宰府市、添田町（佐賀県）佐賀市、鹿島市、基山町（熊本県）山鹿市、湯前町（大分県）大分市、竹田市（宮崎県）日南市
◎配布条件 ▶1人1枚 ▶各11市町配布施設来訪者のみ（郵送不可）▶無料配布

◎添田町の配布場所 ▶配布場所 添田町役場まちづくり課歴史文化財係 ▶配布時間 土・日・祝日除く、8時30分～17時
※その他の市町については、問い合わせください。

お得に
介護予防

◎忘れずに申請しましょう

介護予防ポイントの 交換は3月31日まで



町が行う介護予防事業や老人クラブ活動への参加、介護保険施設などでのボランティア活動をした場合に、一定のポイントがもらえ、地域お買い物券と交換できる介護予防ポイント事業。3月31日まで、介護予防ポイント事業で貯まったポイントを町内で利用できる地域お買物券に交換できる申請を受け付けます。

●交換期限 3月31日四時まで

●持参するもの ▼介護予防ポイント手帳

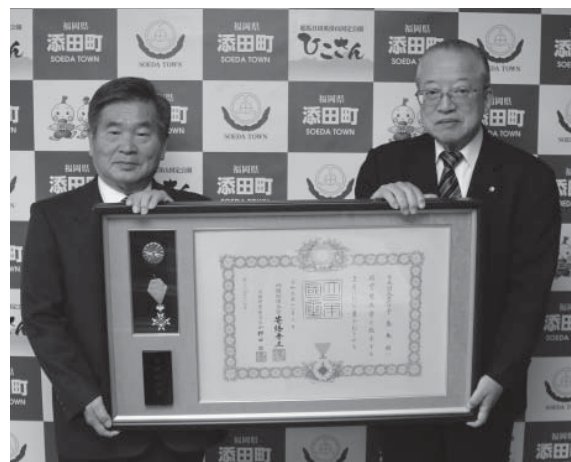
▼印かん

●注意事項 ▼期限を過ぎると地域お買い物券との交換はできません ▼ポイントがたまっていない人もポイントを新しい手帳に引き継ぐことができますので、新しい手帳と交換してください

●ポイント交換の方法 役場①番窓口（保健福祉環境課福祉・高齢者支援係）で交換の申請をしてください

図 役場保健福祉環境課福祉・高齢者支援係（☎82-12322）

●叙勲 瑞宝双光章



↑ 那覇地方法務局では人権擁護課長を務めた手島さんは「管内の学校をまわり、人権に対する啓発活動を行った」と語っていました

手島 奉昭さん (元那覇地方法務局次長)

元地方法務局次長の手島奉昭さん(桜橋)に瑞宝双光章が授与されました。手島さんは昭和42年に法務省に入省し、福岡法務局や九州各地の地方法務局に勤務。平成12年から宮崎地方法務局次長、平成13年からは那覇地方法務局次長を務め、長きにわたり法務行政に取り組んできました。「戸籍や訟務(国の利害に関係のある民事訴訟や行政訴訟に関する事務)、人権擁護などさまざまな事務を行ってきた」と語る手島さん。町に戻ってからは、田川家庭裁判所の家事調停委員を務め、現在はシニアパワーアップ塾で学童保育の手伝いや郷土史会員として町の歴史を学んでいます。「受章は家族のおかげ。これからも健康に気をつけ、地域に貢献したい」と語っていました。

●叙勲 瑞宝単光章

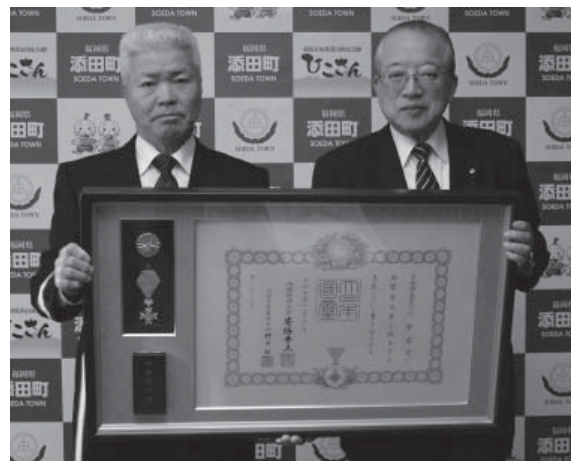


↑ 「今回の名誉ある受章は、一緒に活動してきた先輩や後輩の消防団員のおかげみんなで喜びを分かち合いたい」を語る荒木さん

荒木 志津俊さん (元添田町消防団副団長)

昭和51年から約39年間、防災活動に尽力した元添田町消防団副団長の荒木志津俊さん(中津野)が、秋の叙勲で瑞宝単光章を受章しました。「入団したばかりのころ、火災で死者がでた現場に遭遇し、込み上げてくる悲痛な思いに、二度とこのような惨劇を繰り返してはならないと誓った」と初期消火の重要性を認識し、常に第一線に立って活動を続けてきた荒木さん。平成21年から第6分団長、平成23年から副団長を4年間務め、訓練や啓発活動など消防団発展のために活動しました。「この受章は添田町消防団が受章したものと受け止めている。令和の時代も住民の生命、財産を守るため添田町消防団がチームワークを発揮し、活躍することを願う」と話していました。

●叙勲 瑞宝単光章



↑ 郷土愛と消防精神を胸に、37年間にわたり消防団員として火災現場や山岳救助などに常に第一線に立ち、活動してきた川野さん

川野 哲男さん (元添田町消防団分団長)

昭和46年から平成20年までの37年間にわたり、添田町消防団員として常に第一線に立ち、災害の防止、被害軽減に取り組んできた元第5分団長の川野哲男さん(町四)が、令和元年秋の叙勲で瑞宝単光章を受章しました。「昭和61年3月の彦山駅裏の山火事で、強風にあおられて飛び火、延焼する中、必死に消火活動にあたったことが今でも鮮明に思い出される」と当時を振り返る川野さん。平成18年からは分団長を務め、地域の安全や若手の指導育成にも力を注ぎました。「今回の受章は、ともに頑張ってきた団員たちの支えのおかげ。受章の名に恥じぬよう、これからも精進し、地域のために尽くしたい」と喜びをかみしめていました。

長年の労と功績をたたえ、町内から三人が栄えある受章

関 保健福祉環境課子育て・障がい者支援係(☎82-1232)

4月から小学生のお子さんは「ひとり親家庭等医療証」の手続きを

4月から小学校に入学するひとり親家庭等医療制度に該当するお子さんは、子ども医療証からの切り替えの手続きが必要です。

●必要な手続 対象者となる小学校新1年生(生活保護世帯を除く)に認定申請書を送付しますので、忘れずに手続きをしてください。申請受け付け後、3月末に医療証を送付します。

●受付期限 3月6日(金)

●受付場所 役場保健福祉環境課子育て・障がい者支援係

●必要なもの 印鑑、お子さんの保険証、申請書

関 住民課保険年金係(☎82-5966)

70歳以上の外来の医療費に年間限度額が設けられます

今年度も、70歳以上の人の外来の医療費に、年間の限度額が設けられます。

●対象 70歳以上で基準日に高額療養費の自己負担限度額が「一般」または「市町村民税非課税世帯」に属している人(医療費の負担割合が3割でない人)

※月毎の高額療養費が支給される場合は、差し引いた金額で計算されます。

●年間上限額 14万4千円

●計算期間 平成30年8月1日～令和元年7月31日

●基準日 令和元年7月31日

●申請先 基準日に加入している健康保険元

※添田町の国民健康保険加入者で、国民健康保険期間のみで年間14万4千円を超える人には、役場保険年金係から申請書を送付します。

※計算期間内に一部社会保険期間がある人で14万4千円を超える人は、申請に保険元から出された自己負担額証明が必要です。

※後期高齢者医療の人は、後期高齢者医療広域連合から通知が届きます。高額療養費の振込口座が登録済みの場合、申請手続きは不要です。



関 まちづくり課施策推進係(☎82-1236)

津野の春を満喫しませんか 油木ダム桜ウォーキング大会



と き▶ **4月5日(日)雨天決行**
開会式9時30時～(受付8時30分～)

●集合場所 津野小学校グラウンド

●定員 先着500人

●コース 6キロ、15キロ

●参加費 大人2,000円、中学生以下1,000円

※記念品・昼食代・保険代を含む。
※参加費は、返金できませんのでご了承ください。
また、別途振込料金がかかります。
※小学生以下は保護者が同伴してください。

●申込期限 **2月28日(金)必着**

大会リーフレットに添付している郵便振替払込取扱票に必要事項を記入し、参加費を添えて郵便局で申し込んでください。2人以上でお申込みの場合は、代表者名を記入し、人数分の参加費を添えて申し込み、他参加者の氏名・住所などは郵送かFAXで役場まちづくり課まで連絡ください。

■ 地元物産を販売します

ウォーキング大会に参加しない人にも楽しんでもらえるよう、今年も地元物産販売などを行います。

●主催 津野地域活性化実行委員会

●問い合わせ・連絡先

〒824-0691

福岡県田川郡添田町大字添田2151
添田町役場まちづくり課施策推進係
(☎82-1236 / FAX 82-2869)





留学生の皆さん、ようこそ添田町へ 添田東ふれあいサロン

地域の高齢者の皆さんの健康と絆づくりのために行われている添田東ふれあいサロン。昨年12月13日に行われたサロンでは、九州工業大学院で学ぶフランスやインド、マレーシアからの留学生4人が参加しました。留学生は自分たちの国のことを紹介をしたり、高齢者と一緒に歌や体操をしたりして楽しく交流していました。



↑高齢者と留学生が歌や体操などでふれあいました

こんなに大きい野菜を採ったよ～ 真木保育園が収穫体験

昨年の12月16日、真木保育園の年長組27人が、中元寺地区にある東博美さんの畑で野菜の収穫体験を行いました。園児たちは、東さんに教わりながら、抱えきれないほどの大きさの白菜や自分の顔より大きいグリーンボール、みずみずしく立派に育ったサニーレタスなど大地の実りを収穫し、大満足の表情を浮かべていました。



↑大きく実った野菜を収穫し、大喜びの園児たち

友だちみんなで楽しんだクリスマス クリスマス☆フェスタ

昨年の12月21日、児童館でクリスマス☆フェスタが行われました。虹の会の皆さんによる紙芝居や読み聞かせに続いて、もっちーさんによるマジックショーに大興奮の子どもたち。最後はサンタクロースが登場して、プレゼントが当たるジャンケン大会が行われると子どもたちは、大きな歓声を上げて楽しんでいました。



↑あら不思議、もっちーさんによるマジックショー

心身鍛える、気合の突きと掛け声 田川修武会が寒稽古

空手道場の田川修武会が、田川市の正進館と合同で1月11日、新年恒例の寒稽古を行いました。稽古には子どもから大人まで約35人が参加。道場から歓遊舎ひこさん前の彦山川まで約3キロのランニングの後、男子は上半身裸、女子はTシャツ姿で川に入り、号令に合わせた気合の突きと掛け声で心と身体を鍛えていました。



↑気合の入った「オス」の掛け声が響き渡りました

経験から語る心温まる命のはなし 子育て支援サークル「おんぶに抱っこ」

1月17日、児童館で行われた子育て支援サークル「おんぶに抱っこ」で、宮若市在住のSamitoさん（サミト・宮若市）による講演が行われました。Samitoさんは、自身の流産や死産、子育ての経験から「まずは、お母さん自身が幸せになってほしい。その幸せはきっと、子どもや家族に伝わる」と優しく語りかけていました。



↑色紙に名前と言葉を書くネームアートも開催

暴力追放、安心・安全なまちづくり 防犯交通安全もちつき・暴力追放住民総決起大会

昨年の12月17日、防犯交通安全もちつき・暴力追放住民総決起大会が役場前駐車場で行われ、田川警察署や消防団、交通安全協会、婦人会の皆さんが紅白餅をつきあげました。また総決起大会では、暴力追放宣言とシュプレヒコールを声高らかに唱え、暴力追放を誓い、安心・安全なまちづくりに向けて意識向上を図りました。



↑安心で安全な添田町を願って餅をつきあげました

↓14歳の自分から20歳の自分へのメッセージを代表して6人の生徒が発表しました



20歳のキミへ届け、メッセージ 添田中学校立志式

自分の夢や将来の希望に向かい努力を決意し、表明する添田中立志式が1月17日、町民会館で行われました。2年生68人が「二十歳のキミへ」をテーマに、6年後の自分あてに手紙を書き、代表して6人の生徒が発表しました。剣道に打ち込む宮城敢太さんは生活を支えてくれている父への感謝を述べ「今の僕は将来、お父さんを支えることができるよう勉強も剣道も頑張っている。立派な大人になって」と20歳の自分へ呼びかけました。この手紙は、藤田季弘副町長に託され、6年後に本人へ手渡されます。



↑68人分の手紙を手渡す木戸綾乃さん

10年間の感謝と10年後の夢を語る 二分の一成入式

20歳の半分の10歳を迎えた小学校4年生が、10年間の感謝や将来の夢を決意する二分の一成入式が町内の各小学校で行われました。1月25日に行われた津野小学校では4年生4人とこの日の準備や進行を担当した3年生3人が出席。始めに保護者が見守る中、4年生一人ひとりに校長先生から二分の一成入証書が手渡されました。さらに「いつもありがとう」と涙を流しながら家族への感謝の言葉を口にし、「将来の夢に向かって努力します」と決意する4年生。また、3年生からのお祝いの言葉や保護者から4年生へ「生まれてきてくれてありがとう。これからもずっとあなたを応援します」と手紙が読まれると会場は感動に包まれていました。

↓10年間、立派に成長しました。これからも10年後の自分に向かって歩んでいきます



↓消防団員らが号令に合わせ、機敏な動作で服装点検や分列行進を披露した出初式



新団長の下、防災への決意を誓う 添田町消防団出初式

防災への決意を誓う添田町消防団による出初式が1月12日、そえだドームで行われ団員162人が参加しました。団員たちは号令に合わせ、機敏な動作で服装点検や分列行進を行いました。今回をもって田中久美男団長が勇退され、新たに梶原茂敏団長が就任。梶原新団長は「地域防災の要として消防団一丸となり、災害のないまちづくりにまい進する」と決意を示しました。式終了後、サン・スポーツランドで第3分団がポンプ操法の模擬演技を披露。きびきびとした演技に盛大な拍手が送られていました。



↑新たに消防団長に就任した梶原さん

しゅんじ
平名 隼治ちゃん
2月14日生 ③・岩瀬

毎日、笑顔で癒してね。

◎3歳までのお子さん募集中
3月生まれば2月17日〆まで

Eメールは①お子さんの写真 ②お子さんの氏名 ③名前の読み方 ④誕生日 ⑤年齢 ⑥行政区 ⑦メッセージ(50文字以内) ⑧保護者の連絡先を送信してください。

送信先
koudojyouhou@town.
soeda.fukuoka.jp

☎ 役場総務課広報・秘書係
(☎ 82-1231)

◎子育て支援センターがマルシェ(市場)に♪

おんぶに抱っこマルシェ

手作り雑貨の販売やマッサージ、手作りワークショップ、育児相談など子育てに忙しいママが嬉しいブースが町民会館に大集合。お子さんもお母さんも親子で楽しめる1日です。

◇と き 3月13日 〆 10時～16時

◇ところ 町民会館

※詳細については、広報そえだ3月号でお知らせします。

☎ 子育て支援センター (☎ 85-0888)
児童館 (☎ 82-3402)

地域
の
繁栄
願う、
新年
の
風物
詩

各地
で
鬼火
焚き
や
どんど
焼き

①くろみ保育園児も参加した上落合一地区 ②歓遊舎ひこさん前の河川敷で行われた野田地区の鬼火焚き ③諏訪神社前の河川敷で行われた上中元寺どんと焼きどの地区も世代を超えて交流しました

1月11日に上落合一地区、1月12日に野田地区、1月19日に上中元寺地区で新年の風物詩である鬼火焚き・どんど焼きが行われました。山から切り出した竹や家庭から持ち寄った正月飾りなどで組んだ高さ10メートル以上のやぐらに今年の干支の子年生まれの人や地域の子どもたちが点火。炎は空に向かって勢いよく伸び、パチパチと音を立てながら一気に燃え上がりました。各会場では、バーベキューをしたり、豚汁やぜんざいが振る舞われたりと楽しく交流。やぐらが焼け落ちた後は、残り火で餅を焼き、今年一年の健康や豊作、地域の繁栄を願いながら、みんなで味わっていました。

大豆
から
手作り
した
豆腐
の
味は
絶品

添田
小で
豆腐
作り
体験

添田小学校の3年生が1月21日、田川地域の女性農家でつくる「幾重の会」から教わり、豆腐作りに挑戦しました。地元産の大豆をすりつぶし、おからと分けた豆乳に、にがりを入れて固めると豆腐が完成。幾重の会の皆さんが作った、ご汁やおから料理と一緒に試食した児童は「大豆の味がおいしい」と何度もおかわりをしていました。

↑授業で大豆から色々な食べ物ができることを知った児童

いのち、
くらし、
ちいき
を守る
活動
を

添田
町
婦人
会

昨年11月7日と8日、添田町婦人会が福岡市内で開催された九州地区地域婦人大会に参加しました。大会では「いのちをまもり、くらしをまもり、ちいきをまもる 婦人会」をテーマに九州各地の婦人団体の600人以上が参加しました。また、昨年の12月17日には越年支援物資と義援金を集め、更生保護施設や日本赤十字社などに送りました。

↑ホテルオークラでの九州地区地域婦人大会に参加しました

↑施設に支援物資を届けました

添田
町
らしさ
あふれる
トーテム
ポール

NPO
法人
アート
もん

道の駅歓遊舎ひこさんのこどもわくわくパークに昨年の12月21日、2本のトーテムポールが誕生しました。NPO 法人アートもんが、町内の学童保育などにデザインを募集。採用されたものを10月の木もくまつりのときにチェーンソーで製作したものです。この日は、デザインした落合小学校4年生の加藤紘基くんと津野小学校3年生の崎山璃那さんも参加。英彦山や天狗、動物など添田町らしさあふれるデザインのトーテムポールの完成を祝いました。

↑デザインした加藤くん(左)と崎山さん(右)

◎3月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します
2月17日〆までに役場総務課に連絡してください。
※投稿は1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。

☎ 役場総務課広報・秘書係 (☎ 82-1231)

【川柳 投稿】

高齢化子ども見かけぬ隣組
幸せは夫婦で行動ともにする
原田 祥二郎
原田 順子

令和二年の足跡残す
遠き異国に平和の礎を築きし人よ
仲摩 直子

理不尽なる凶弾に散る何故

【俳句 投稿】

藁葎の藁の白いの梅ひらく
大池 みどり

凜とした空气中に鹿が鳴く
寺本 紀子

岩石山をじっと見つめる昼の月
村岡 清香

磴整備淑気満つ奉幣殿
伊勢村 稔

破芭蕉を吹き上げてゐる風の息
島津余史衣

金風や打掛の鶴舞い上がる
柴田 一世

若僧に法解く声に酔ふ芙蓉
斎藤智寿子

包装を解けばりんごの香りたつ
天野ユキ海

眼鏡ふき一句書き足す夜長の灯
立花 克明

「創作は続けなあかんで」ありし日の
独活山 強実

藤本義一の言葉噛みしむ
櫻木 マサ子

【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

庭隅の名残りの夏草茂れるを
大塚 富江

刈らむと寄れば虫の音の絶ゆ
柿の実の三個つきたる枝を折り
五十嵐 田鶴

湘南までも持ち行く弟
喜寿と言ふ節目となりて体力の
平井 朝子

衰へを知るこれが齡か
秋晴れに心身ともに洗濯す
木村 寛子

今宵は夢も素晴らしからむと
隣人の一人居の友椿苗を
福富 廣枝

植ゑつつか細くローズ色と言ふ
百日草風雨に耐へて咲き終り
荒巻 ミサ子

労り乍ら力込め抜く
西 加予

【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

ひび割れし地球横目に梅一輪
諫山 静香

明日を生く火種を煽る春の風
鈴鹿 雅子

残照に己れの姿枯尾花
安永 藻香

年新ためたきなれど一步後たい
手嶋くみえ

幸せの物差しはなし水仙花
武田 晴子

肉じゃがが煮くずれしそう暖冬
池 三太

七草のそろう畑や祖母近し
西 加予

15 広報そえだ (令和2年2月号)

14 広報そえだ (令和2年2月号)



教育のひろば

おやじ会とPTAが受験生を激励

添 田中学校には、男性保護者でつくる「添田中学校おやじ会」があります。そのおやじ会と添田中PTAとの合同で1月11日、受験を控えた3年生全員の希望進路合格を願って激励会が行われ、おやじ会が早朝から準備した豚汁やヤマメの塩焼きなどが生徒たちに振る舞われました。「今日は、保護者だけではなく英峰塾のボランティア(大学生)の先生方も応援に来てくれています。豚汁を食べ元気を出して、全員合格を目指そう」とエールを送るおやじ会会長の山野道明さん。生徒会長の白石凌也さんは「今日の激励会を通してもう一度、3年生全体で士気を高め全員第一志望校に合格できるように頑張ります」と感謝と決意を述べました。



←おやじ会の温かい豚汁を食べて、目指せ!! 全員志望校合格

平 成20年4月に男性保護者の有志が立ち上げ12年目を迎えた添田中おやじ会。中学3年生の土曜学習「英峰塾」への参画や、体育会、花火大会などにおける会場巡回など、生徒への支援活動を学校、教育委員会と協力して行っています。教育委員会としても、添田中おやじ会の活動にお礼を申し上げるとともに、これからも生徒たちの健全な成長の見守りを続けていただきます。

町立小・中学校「卒業式、入学式」

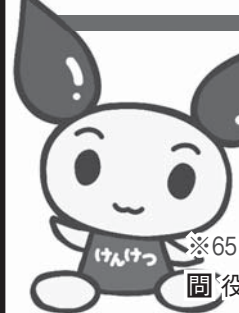
- 卒業式
- ▶添田中学校 3月12日(木)
 - ▶各小学校 3月17日(火)
- 入学式
- ▶添田中学校 4月9日(木)
 - ▶各小学校 4月10日(金)



☎ 教育委員会
学校教育課(☎82-5963)

献血にご協力を

●やさしさが
笑顔をつくる



♡とき 3月30日(日) 10時～12時30分
13時30分～16時
♡ところ 添田町役場
♡対象者 体重が50キログラム以上の人で、
男性 17歳～69歳 女性 18歳～69歳
※65歳以上の人は、60～64歳に献血経験がある人。
☎ 役場保健福祉環境課健康対策係 (☎88-8111)

す。どのような手続きができるかを一緒に考えましょう。

▼相談窓口 ▼福岡法務局戸籍課／平日8時30分～17時15分
(☎092-721-9334) ▼福岡県弁護士会子ども人権110番／土曜12時30分～15時30分
(☎092-752-1331)
☎ 福岡法務局戸籍課 (☎092-721-9334)

出張労働問題相談会

▼とき 2月28日(金) 13時30分～16時
▼ところ 添田町役場1階第3会議室
※予約不要、相談無料。

**九州・沖縄地区
相続登記セミナー・相談会**

福岡法務局と福岡県司法書士会では、不動産の相続登記の手続きや遺産相続手続き、生前贈与などのセミナーと相談会を開催します。

▼とき 2月11日(火) 11時～12時30分 ▼相談会(予約者優先) 12時30分～15時30分

☎ 福岡県建築労働者支援事務所 (☎0948-22-1149)



▼ところ ▼福岡会場Ⅱエルガラホール(福岡市) ▼北九州会場ⅡKMMビル(北九州市)

▼予約期限 2月10日(日)16時
※相談会では司法書士が無料で相談に応じます。

☎ 福岡県司法書士会 (☎092-722-4131)

**ひとり親サポートセンター
飯塚ランチに相談を**

飯塚ランチでは、ひとり親家庭を対象に、ハローワークと連携した就業支援や養育費相談などを行っています。

▼受付日時 月曜～金曜9時～17時(土曜と第1・第3日曜)

の9時～16時も受け付け)

▼相談内容
▽就業支援
▽来所相談・出張相談
▽養育費相談Ⅱ電話相談
▽無料弁護士相談Ⅱ養育費相談などの結果、弁護士による助言が必要と判断された場合、弁護士相談クーポンを配布

※詳しくは問い合わせください。
☎ ひとり親サポートセンター飯塚ランチ (☎0948-21-0390)



自衛官採用試験

【第8回自衛官候補生採用試験】

▼試験日 男子Ⅱ3月7日(土)、女子Ⅱ3月8日(日)

▼試験会場 陸上自衛隊福岡駐屯地(春日市)

▼受験資格 18歳以上33歳未満の者

▼受付期限 3月2日(日)

【就職説明会】

▼とき 2月16日(日)10時～15時

▼ところ 香春町民センター

※詳しくは問い合わせください。



☎ クアハウスハピネス (☎82-5061)

▼給与 月額14万7400円
※雇用期間など詳しくは問い合わせください。

▼勤務時間 ①8時30分～17時15分 ②12時15分～21時(交代制)

▼給与 月額14万7400円
※雇用期間など詳しくは問い合わせください。

▼勤務地 クアハウスハピネス

▼募集人数 若干名(男女)

※要普通自動車免許

▼業務内容 受付業務、館内清掃、パソコン入力など

マイナンバー

マイナンバー(個人番号)カードを申請しませんか

▼マイナンバーカードは、プラスチック製の顔写真付きICカードで、本人確認書類として利用できるほか、e-Taxなどの電子申請を行うことができます。マイナンバーカードの申請は、スマホやパソコン、郵送などの方法があります。

▼マイナンバーカードをお持ち



相談

保健師・管理栄養士が個別健康相談に応じます

とき ①2月21日(金)15時30分～

▼ところ ▼福岡会場Ⅱエルガラホール(福岡市) ▼北九州会場ⅡKMMビル(北九州市)

▼予約期限 2月10日(日)16時
※相談会では司法書士が無料で相談に応じます。

☎ 福岡県司法書士会 (☎092-722-4131)

16時30分受付(事前申し込み不要)

▼ところ クアハウス

▼内容 健診結果や食生活、栄養改善に関することなど、気軽に相談してください

☎ 役場保健福祉環境課健康対策係 (☎88-8111)

無戸籍でお困りの人は
相談窓口にご連絡ください

戸籍に記載されていないため、行政サービスが受けられないなどでお困りの方は、法務局や市町村の戸籍担当窓口、福岡県弁護士会にご相談ください。また、戸籍に記載されていない方をご存知の方も連絡をお願いします。相談は無料で秘密は厳守されます。

Information 暮らしに役立つ情報満載

試験・募集

自衛官採用試験

【第8回自衛官候補生採用試験】

▼試験日 男子Ⅱ3月7日(土)、女子Ⅱ3月8日(日)

▼試験会場 陸上自衛隊福岡駐屯地(春日市)

▼受験資格 18歳以上33歳未満の者

▼受付期限 3月2日(日)

【就職説明会】

▼とき 2月16日(日)10時～15時

▼ところ 香春町民センター

※詳しくは問い合わせください。

添田町を元気に!

地域おこし協力隊通信 Vol.17



地域おこし協力隊 佐々木隊員が退任



地域おこし協力隊の佐々木晋です。3年間の任期満了に伴い、昨年12月27日をもちまして添田町地域おこし協力隊商品流通推進員を退任することとなりました。3年間という短い間でしたが、添田町の農産物の販売や流通に携わらせていただきました。

添田町役場関係者、道の駅歓遊舎ひこさん関係者をはじめ、地域の皆様に、時にはご面倒をおかけすることもありましたが、大変可愛がっていただき、心の温まる充実した時間を過ごさせていただきました。添田町は私にとって大切な故郷となりました。引き続きご指導いただけると幸いです。

「感謝」

佐々木 晋



私たちの活動を公開しています



添田町地域おこし協力隊
フェイスブックページ
<https://www.facebook.com/soedamatitikiokosi/>

添田町地域おこし協力隊



人の動き

12月末日現在（ ）は前月比

- 人口 9,642人（－17人） ●出生 2人
- 男性 4,568人（－8人） ●死亡 14人
- 女性 5,074人（－9人） ●転入 15人
- 世帯数 4,683世帯（－7世帯） ●転出 20人

相談

●心配ごと相談（そえだジョイ／10時～15時）
2月18日☎、3月3日☎

●補聴器相談（役場ロビー）
2月12日☎（13時～）、14日☎（15時～）

●無料法律相談（オークホール／13時～16時）
2月21日☎

※2か月に1回の巡回無料相談会です。前日午前中までに役場保健福祉環境課で予約してください。

☎ 役場保健福祉環境課（☎ 82-1232）

●無料法律相談会
（福岡法務局田川支局／13時～16時）
2月18日☎、3月10日☎

※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。

☎ 法テラス福岡（☎ 050-3383-5502）

●こころの健康相談（田川保健福祉事務所／予約制）
2月27日☎（14時～）

☎ 田川保健福祉事務所健康増進課（☎ 42-9307）

●女性の健康相談・不妊相談（福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所／要予約）

2月5日☎、3月4日☎（13時30分～16時30分）

☎ 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課健康増進係（☎ 0948-29-0277）

納期限のお知らせ

●3月2日☎が納期限です
▷国民健康保険税（8期）

▷後期高齢者医療保険料（8期）

☎ 役場住民課税務・滞納対策係（☎ 82-1234）

事件事故発生状況

12月の事件発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
自動車盗	0（±0）	0
性犯罪	0（±0）	1
車上ねらい	0（±0）	2
空き巣・忍び込みなど	0（±0）	3
12月の事故発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
事故発生（物件＋人身）	10（－1）	187
死亡者	0（±0）	2
負傷者	3（＋0）	42

●年齢問わずどなたでも参加できます

第32回 町民バドミントン大会

- とき 3月15日☎ 9時（受付8時45分～）
 - ところ 町体育館／参加無料
 - コース 上級者・中級者・初級者／性別なしのダブルス
 - 参加資格 町内在住・在職者や町内体育施設で活動をしている人
 - 申込期限 3月9日☎（社会教育課に申込用紙を提出）
- ☎ 教育委員会社会教育課社会教育係（☎ 82-2559）

農地の貸し借りを推進
利用権設定について

町では、意欲ある担い手を育成し、農業生産の合理化・効率化などで生産コストの低減を図るため、農業経営基盤強化促進事業で農地の貸し借りを推進しています。

▼出し手のメリット
▽貸した農地は期限が来れば、離作料を支払うことなく必ず返ってきます

▼受け手のメリット

▼経営規模の拡大が図れます
▽貸借期間中は安心して耕作できます。また、再設定で継続して借りられます

▼受付期間 2月3日☎～28日☎

☎ 役場地域産業推進課農業振興係（☎ 82-1237）

テレビの「受信障害」対策を実施します

携帯電話の電波帯拡大の影響で、テレビへの受信障害がないかを調査します。テレビの映像に影響の出る可能性がある地域にはチラシを配布します。影響が出た場合は対策員が回復作業を行いますので、コールセンターまで連絡してください。

▼試験予定日 2月20日☎

※回復作業を行っても、費用を請求することは一切ありません。
※詳しくは問い合わせください。

☎ 700MHz（メガヘルツ）テレビ受信障害対策コールセンター（☎ 0120-700-012）

みらいねっとフォーラム

「女性の職業キャリアの現状」という側面から労働問題や女性の貧困について考えます。

▼とき 3月14日☎ 13時30分～（事前申込者優先）

▼ところ クローバープラザ（春日市）

▼講演 小杉礼子さん（労働政策研究・研修機構研究顧問）

☎ 福岡県男女共同参画センターあすばる（☎ 092-584-3739）

※回復作業を行っても、費用を請求することは一切ありません。
※詳しくは問い合わせください。

☎ 700MHz（メガヘルツ）テレビ受信障害対策コールセンター（☎ 0120-700-012）

みらいねっとフォーラム

「女性の職業キャリアの現状」という側面から労働問題や女性の貧困について考えます。

▼とき 3月14日☎ 13時30分～（事前申込者優先）

▼ところ クローバープラザ（春日市）

▼講演 小杉礼子さん（労働政策研究・研修機構研究顧問）

☎ 福岡県男女共同参画センターあすばる（☎ 092-584-3739）

ありがとうございます（敬称略）

○添田町社会福祉協議会へ

▼香典返し ▼（故）田中春喜（町二）▼（故）佐々木多見子（町四）▼（故）宗近博明（町四）▼（故）松井百合子（真木）▼（一般寄付 ▼柳田博（柗田）

○特別養護老人ホームそえだへ

▼慰問 ▼三笠流ひまわり会▼高橋浩月（町四）▼坂本泰子（峰地）▼伊藤麗子（添田中）▼三丸十七子（添田中）▼田代律子（田川市）

○錦風荘へ

▼慰問 ▼伊藤麗子（添田中）▼三丸十七子（添田中）▼田代律子（田川市）

（令和2年1月14日現在）



Information くらしに役立つ情報満載

●一緒に添田町のまちづくりについて語りませんか

ソエダみらい会議(仮称)参加者募集

ソエダみらい会議(仮称)は、町内外の添田町ファンの皆さんと、添田町の「みらい」について話し合う会議です。参加資格はありません。参加者が100人集まるまで(仮称)です。会議の内容が実現可能な事業となった場合は「第6次総合計画」に反映します。添田町ファ

ンの皆さんの参加をお待ちしています。

●とき 2月15日☎ 18時30分～20時

※15時～17時の間、個別に話しを聞く時間を設けています(この時間帯は出入り自由です)

●ところ オークホール

☎ 役場まちづくり課総合企画係(☎ 82-5965)

お知らせ

英彦山温泉しゃくなげ荘
3月末で休館します

英彦山温泉しゃくなげ荘はオープンから25年が経過し、建物・設備の老朽化や温浴施設を取り巻く環境の変化などから、今後は、観光戦略に掲げる自然を活かした体験事業の開発を進めていく中で「湯の山地区の自然を感じ楽しむ空間づくり」において新しい活用を含め、検討していきますので、令和2年3月末を

もちまして、休館させていただきますことになりました。平成6年のオープンから町民の皆さまをはじめ、地域・関係者の皆さまより賜りましたご愛顧、ご支援に深く感謝申し上げます。

☎ 役場地域産業推進課商工業振興係（☎ 82-5962）

町バス事務所を移転しました

田川警察署添田警部交番の隣りにある町バス車庫と事務所は、田川地区消防署添田分署の移転に伴い取り壊され、町バス事務所は役場に機能移転しています。バス停はそのまま利用できますので、ご利用の際は、工事車両などに注意してください。

☎ 役場まちづくり課施策推進係（☎ 82-1236）

身体障がい者・一人暮らし高齢者のふれあいバスハイク

▼とき 3月12日☎・13日☎ 10時～16時30分

▼行先 湯の迫温泉大平楽（大衆演劇／上毛町）

▼対象者 ▼障がい者Ⅱ身体障害者手帳1級・2級 ▼高齢者Ⅱ75歳以上（昭和19年12月31日以前生まれ）で一人暮らしの人、または同居者が半年以上入院や入所していて現在一人暮らしの人

▼申込期限 2月14日☎

※対象者には手紙などで案内しています。初めての人も大歓迎。気軽に問い合わせください。

☎ 添田町社会福祉協議会（☎ 82-2600）

子育て応援パスポートアプリ
配信スタート

県では、子育て家庭を対象に「パスポートサービス」を提供している「子育て応援の店」を現在地から簡単に探すことができる「子育て応援パスポートアプリ」（地図アプリ）を作成しました。パスポートサービス提供店でパスポートを提示すると、登録者限定のサービスが受けられます。パスポートの登録やダウンロードは、福岡県「子育て応援の店」ホームページから願います。

☎ 福岡県「子育て応援の店」事務局（☎ 092-761-4322）

全国瞬時警報システム(Jアラート)

防災無線のスピーカーで 全国一斉訓練をします

大災害や緊急事態発生時に備え、全国瞬時警報システム(Jアラート)を使用した自動放送訓練が全国一斉に実施されます。町でも町内に設置している防災無線のスピーカーから下記の内容が放送されますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。今回行うのは放送訓練です。特に皆さんが行動する必要はありません。

●全国瞬時警報システム(Jアラート)放送訓練

- ▷とき 2月19日☎ 11時頃
- ① 開始チャイム
- ② 「これはテストです」
- ③ 「こちらは防災添田町です」
- ④ 終了チャイム

☎ 役場防災管理課防災安全係（☎ 82-4002）

ご協力ありがとうございました

令和元年台風第19号 災害義援金のお礼

町では、昨年10月に発生し、東日本の広範囲で被害をもたらした令和元年台風第19号による災害の被災者支援を目的に、10月21日から12月27日まで役場ロビーにおいて義援金の受け付けを行いました。地域の皆様からお寄せいただいたお気持ちのこもった募金は、日本赤十字社へ送金しました。募金に協力いただきありがとうございました。

- 募金額 65,908円
- 送金先 日本赤十字社



◇発行／添田町 ◇編集／総務課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 21-51 番地
☎ 0947-82-1231 FAX 0947-82-2869
ホームページ <http://www.town.sodeda.fukuoka.jp>

◇印刷／丸五印刷株式会社
※広報そえだは再生紙を使用しています

Photo Contest 美しい自然と歴史あふれる町 添田へ行こう。

第24回 添田町フォトコンテスト 入賞作品決定



●特選(風景部門)
綺麗、こちらも綺麗です (撮影地・英彦山大権現)
井上 修さん (北九州市)



●特選(イベント部門)
歓 喜 (撮影地・野田)
納富 恵子さん (北九州市)

町内の自然やイベントをテーマにした添田町フォトコンテスト。今回は、特選2点・秀作10点・入選15点の入賞作品が決定しましたので、ご紹介します。

●秀作／10点【風景部門】 ▶馬場徹 (篠栗町) ▶岩重正敏 (北九州市) ▶牟田元弘 (北九州市) ▶冨田佳宏 (香春町) ▶小西静子 (北九州市) 【イベント部門】 ▶石村國男 (宗像市) ▶白川勉 (みやこ町) ▶沖永稜彦 (北九州市) ▶生田守 (北九州市) ▶宿里繁人 (嘉麻市) ●入選／15点【風景部門】 ▶松尾和子 (芦屋町) ▶前谷慎治 (福智町) ▶河野勉 (北

九州市) ▶筒井篤孝 (北九州市) ▶高瀬重信 (大野城市) ▶藤居孝司 (川崎町) ▶合原繁利 (川崎町) ▶木下武 (川崎町) 【イベント部門】 ▶熊崎芳彦 (川崎町) ▶古川佐代美 (北九州市) ▶二田水敦志 (糸田町) ▶千田一弘 (添田町) ▶遠藤晴世 (北九州市) ▶西山京子 (北九州市) ▶葉石美和子 (北九州市) /順不同・敬称略

入賞作品は、英彦山スロープカー花駅内に展示しています。町ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

広報そえだ 町長室

宮崎県日南市で歴史的風致維持向上計画の認定を受けた九州の自治体が一堂に会しシンポジウムが開催されました。そのテーマが「人を呼び込む歴史まちづくり」でした。全国78市町村・九州では、11市町が国から認定されたものであり、歴史的風致維持に基づくまちづくりを国からの支援で行うものです。福岡県では、太宰府市、添田町、宗像市の3つの市と町が認定されています。この認定には、国の重要文化財があるところとの条件があり、しっかりと計画が求められたところです。▼ご承知のとおり添田町には「英彦山神宮奉幣殿」「銅鳥居」があります。この鳥居には霊元天皇より秀でた山ということ、頭に英語の「英」の字を賜った「えいひこさん」と書いて「ひこさん」と読ませる勅額がかけてられています。室町後期の画僧「雪舟」が中国から帰国後、英彦山に住み庭園を造っています。「旧亀石坊庭園」で、昨年その周辺の庭園が「英彦山庭園」として名勝の追加指定の答申がなされました。江戸時代の商家で国重要文化財の「中島家住宅」は、今の大規模な修復を国の支援を頂き行っています。令和3年には修復工事も終わり当時の雄姿がよみがえります。英彦山の麓、津野地区にも藁葺き屋根の大農家「旧数山家」と、数多くの重要文化財が歴史とその心が縦軸として存在しています。▼その縦軸に、そこに住む我々、そして周辺住民が自分たちで横軸を絡ませ、輝く地域として織り上げるものだと考えているところです。その、横軸を絡ませるには、重要文化財の整備と共に情報発信と人材育成が必要だと考えます。▼昨年の敬老会の歌謡ショーに参加して頂いた歌手の橋昌彦さんから、「関東エリアのラジオ番組で添田町の事を紹介したいのだが、端的にどのように言えば良いですか」と問われました。日本三大修験道の霊山英彦山のある町、ゆずごしよの元祖の町、空気と自然と人情の素晴らしい町、明太子風味のせんべい「めんべい」の工場のある町、色々考えられますが、これが添田町に「人を呼び込む」キーワードになるのだろうか。定住しかり観光しかりです。▼あなたにとってこんなことが出来る町ですと発信し共感を得る事がその鍵だと思えます。そのひとつが、体験なのかも知れません。添田町ならではの農業体験・林業体験。このようなことが添田町では出来るのだと言うものを捜し、情報発信することだと思えます。皆さんも添田町を、関東エリアに紹介するための端的な言葉、事業を考えて頂ければ。